

社会資本総合整備計画（地域住宅支援）

平成26年4月1日

計画の名称	1 東海道を核とした歴史的街なみ環境整備																															
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）					交付対象	亀山市																									
計画の目標	亀山の魅力ある自然景観や歴史文化的景観、都市的景観、あるいは歴史的背景などの地域特性を活かし、魅力ある居住環境づくりを目指す																															
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的風致形成建造物の修理件数割合を13%（3件/22件）から36%（8件/22件）に増加</li> <li>案内ボランティア「亀山宿語り部の会」の案内回数を5回/年から20回/年に増加</li> <li>亀山駅周辺自治会（約250世帯）へのアンケート「駅周辺の現状に対する印象」における「良い」「やや良い」の割合を13%（H20調査）から18%に増加</li> </ul>																															
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H23当初)</th> <th>中間目標値 (H25末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歴史的風致形成建造物の修理件数の割合 (修理件数割合) = (修理件数) / (歴史的風致形成建造物件数 22件)</td> <td>13%</td> <td></td> <td>36%</td> <td rowspan="3">※中間目標は任意</td> </tr> <tr> <td>亀山宿語り部の会の年間の案内回数を集計する</td> <td>5回/年</td> <td></td> <td>20回/年</td> </tr> <tr> <td>亀山駅周辺自治会（約250世帯）へ「駅周辺の現状に対する印象」に関するアンケートを実施する</td> <td>13%</td> <td></td> <td>18%</td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	歴史的風致形成建造物の修理件数の割合 (修理件数割合) = (修理件数) / (歴史的風致形成建造物件数 22件)	13%		36%	※中間目標は任意	亀山宿語り部の会の年間の案内回数を集計する	5回/年		20回/年	亀山駅周辺自治会（約250世帯）へ「駅周辺の現状に対する印象」に関するアンケートを実施する	13%		18%
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																												
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)																													
歴史的風致形成建造物の修理件数の割合 (修理件数割合) = (修理件数) / (歴史的風致形成建造物件数 22件)	13%		36%	※中間目標は任意																												
亀山宿語り部の会の年間の案内回数を集計する	5回/年		20回/年																													
亀山駅周辺自治会（約250世帯）へ「駅周辺の現状に対する印象」に関するアンケートを実施する	13%		18%																													
全体事業費	合計 (A+B+C)	904百万円	A	845百万円	B	0	C	59百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	6.5%																						

交付対象事業

A 基幹事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
								H23	H24	H25	H26	H27		
1-A1-1	住宅	一般	亀山市	直/間	市/個人	亀山市東海道沿道地区街なみ環境整備事業	歴史的風致形成建造物の整備、道路美装化等						795	
1-A1-2	住宅	一般	亀山市	直	市	亀山駅周辺基本計画等作成等事業	市街地総合再生基本計画の作成						50	
合計												845		

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
合計												0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	住宅	一般	亀山市	直接	市	-	文化財公開活用及び説明看板設置事業	パンフレット作成・説明看板設置	亀山市						5	
1-C-2	住宅	一般	亀山市	直接	市	-	関宿観光駐車場整備事業	駐車場整備	亀山市						46	
1-C-3	住宅	一般	亀山市	直接	市	-	亀山駅周辺まちづくり協議会活動支援事業	コンサルタント派遣等による活動支援	亀山市						8	
合計												59				

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
1-C-1	修理した歴史的風致形成建造物を公開し市民団体等の活用を図ることで、歴史資産を活かしたまちづくりを活性化させる。また、文化財説明看板を設置し散策者を適切に誘導することで、地域住民の居住環境を維持する。											
1-C-2	関宿内への観光バス等大型車両の進入を制限することで、歴史的な街並みの風情や地域住民の居住環境を維持する。											
1-C-3	地元協議会の活動に対しコンサルタント派遣等の支援をすることで、協議会の意向を反映した実現性のある計画作成が推進できるとともに、住民へのまちづくりの啓発、人材育成、住民意見の反映ができる。											

街なみ環境整備方針説明書

都道府県名		三重県	市町村名	亀山市	区域名	亀山市東海道沿道地区	
区域現況	区域の概況	<p>当地区は、市域をほぼ東西に横断する東海道53次の街道沿い、東西約19.5km、面積500haで、亀山市歴史的風致維持向上計画に基づく重点区域と一致する。</p> <p>東海道53次は、江戸時代に江戸と京を結んだ幹線道路で、市域にはその宿場町として、亀山・関・坂下の3宿があり、これらは現在の亀山市における中心的な市街地となっている。東海道沿道には、現在でも歴史的な建造物等が数多く残り歴史的な風致を形成しているが、中でも関宿は、昭和59年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、その保存整備を継続して行ってきた。関宿においては、歴史的な建造物の保存と現代的な生活との両立をテーマとして、「生活の場」としての町並み保存に取り組んでおり、保存整備の進捗により、歴史的な風致とともに良好な生活環境が形成されつつある。</p> <p>しかし、その一方で亀山宿や坂下宿においては、周辺の開発の進展や歴史的建造物の老朽化、維持管理の難しさもあって、歴史的な町並みの風情や街道としての連続性が失われつつあり、これまで維持されてきた良好な生活空間が失われつつある。</p>					
	道路の現況	<p>区域の中心軸となっている東海道は、国道1号等のバイパスとして整備された区間を除けば生活道路として多くの市民や来訪者に利用されている。東海道沿いには、関宿のほか、坂下宿や亀山宿、亀山城下町など、歴史的な風情を感じさせる町並みが続いており、道路環境はその重要な要素である。しかし、近年、町並みの連続性が徐々に失われたり、宿場間において歴史的な風情が失われてきており、道路を介した街道の連続性の再構築が重要な課題である。</p>					
	公園等の現況	<p>区域内には亀山市で最大の都市公園である亀山公園が位置する。亀山公園は亀山城跡の一部で、地域の歴史的風致を形成する重要な要素のひとつとなっている。平成20～22年度には、歴史的環境形成総合支援事業により公園へのアクセス道や園路の整備を行った。</p>					
	地区住民のまちづくり活動の概要	<p>関宿においては、町並み保存が始まった昭和55年から積極的な住民活動が進められており、現在でも町並み保存の普及啓発を行う「NPO東海道関宿」、見学者の案内活動を行う「関宿案内ボランティアの会」、関宿を代表する祭りを保存する「関宿『関の山車』保存会」がそれぞれ活動を行っている。また、亀山宿においては、歴史的な建造物に屋号看板を取り付ける活動を行った「宿場の賑わい復活一座」、見学者の案内を行う「亀山宿語り部の会」等が活動している。</p> <p>また「ふるさと文化資産保全活用研究会」は、建築士が中心となって街道沿いの歴史的な建造物の保存を技術的に支える活動を展開している。</p>					
地区の整備に関する基本方針	整備の目標	<p>亀山の魅力ある自然景観や歴史文化的景観、都市的景観、あるいは歴史的背景などの地域特性を活かし、魅力ある居住環境づくりを目標とする（「亀山市住生活基本計画」H21.3策定）</p>					
	整備の時期	<p>平成23年度～平成27年度</p>					
	地区施設等	通路等	<p>東海道は来訪者にとって重要な散策路となっている。しかし、宿場間の歴史的な風情が失われ、街道の連続性が損なわれつつある。また、案内看板等の不足により、散策者を適切に誘導できていないと言いはし難い。街道の美装化や案内看板を設置することで、街道の連続性を確保するとともに、回遊性の高い歩行者ネットワークを形成し、周辺の歴史的建造物と一体となって歴史的な風情を感じることができ、かつ歩きやすい快適な道空間づくりを目指す。</p>				
		小公園等	<p>亀山公園に位置する「大久保神官家棟門」や「明治天皇行在所」（いずれも歴史的風致形成建造物指定予定・市指定建造物）を修理する。周囲の亀山城多聞櫓や亀山演武場等の歴史的建造物と一体となって歴史的な風情を感じることができる空間づくりを目指す。</p>				
		その他	<p>関宿には、観光バス等大型車両が利用できる駐車場が1箇所設けられているが、歴史的な町並みを横切らなければ進入できない位置にある。関宿内への車両の進入を制限できる位置に新たに駐車場を整備し、歴史的な町並みの風情や地域住民の居住環境の維持を目指す。</p> <p>また、東海道沿いには散策者が利用できるトイレ等の休憩施設が不足していることから、これらを整備し散策者の利便性を高める。</p>				
	住宅等	住宅					
敷地							
その他の事項							